



KAWAI 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月6日

上場会社名 株式会社河合楽器製作所

上場取引所 東

コード番号 7952 URL <https://www.kawai.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 執行役員 （氏名）河合 健太郎

問合せ先責任者 （役職名）コーポレート戦略本部 経営戦略部長 （氏名）飯塚 章浩 TEL 053-457-1227

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	17,792	1.1	△500	—	△268	—	△169	—
2025年3月期第1四半期	17,602	△9.3	△555	—	△227	—	△283	—

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 △1,282百万円（－％） 2025年3月期第1四半期 870百万円（△38.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△19.73	—
2025年3月期第1四半期	△32.96	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	74,433	42,438	57.0
2025年3月期	73,991	44,541	60.2

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 42,438百万円 2025年3月期 44,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	95.00	95.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		0.00	—	95.00	95.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	76,000	4.2	1,500	374.6	1,500	215.8	820	102.3	95.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	9,011,560株	2025年3月期	9,011,560株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	412,141株	2025年3月期	412,141株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	8,599,419株	2025年3月期1Q	8,599,537株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ危機の長期化や中東情勢の緊迫化など不安定な状況が続いており、米国における新たな関税措置が国際的な供給網や経済活動に影響を及ぼすことが懸念される中、先行き不透明感が一層強まっております。

当社グループを取り巻く環境としては、楽器教育事業は中国での販売減少などにより前年同期比で減収となりましたが、素材加工事業における半導体関連部品の受注回復や、その他事業のうち情報関連事業における医療機関向けの大型案件獲得などがあり、グループ全体では増収となりました。利益面では、楽器教育事業の損失悪化などにより四半期純損失の計上となりましたが、素材加工事業とその他事業では前年同期比で増益となり、損失改善となりました。

当社グループは2027年に迎える「創立100周年」とその先の継続的な発展を見据え、2025年3月に策定した第8次中期経営計画「KAWAI 十年の計」（2026年3月期から2035年3月期）で掲げる「経営基盤強化」、「鍵盤楽器成長戦略」、「更上戦略」の実現に向けた施策を推進しており、デジタルマーケティングの強化や、オンラインを含むディーラー開拓による販売チャネル増強など、ブランド認知度向上と売上増大に向けた取り組みを進めております。

こうした中で、2025年6月にスペインで開催された「第23回ホセ・イトゥルビ国際ピアノコンクール」において、当社フルコンサートピアノ『SK-EX』を弾いたナビール・ハエック氏が第1位、ルッジェーロ・フィオレッタ氏が第3位を受賞、また同月に仙台で開催された「第9回仙台国際音楽コンクール ピアノ部門」では、同じく『SK-EX』を選択したエリザヴェータ・ウクラインスカヤ氏が第1位を受賞するなど、当社ブランド価値の向上に資する大きなトピックがありました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は 17,792百万円（前年同期比 190百万円増）、営業損失は 500百万円（前年同期比 54百万円改善）、経常損失は 268百万円（前年同期比 41百万円悪化）、親会社株主に帰属する四半期純損失は 169百万円（前年同期比 113百万円改善）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(楽器教育事業)

楽器教育事業は、認知度向上をはじめとした各施策の効果によって国内や北米市場は回復基調にあるものの、双減政策の影響が続く中国や、ウクライナ情勢の長期化の影響を受けた欧州で消費者マインドが悪化したことなどにより、売上高は 13,458百万円（前年同期比 969百万円減）となり、材料費の高騰などにより営業損失は 728百万円（前年同期比 41百万円悪化）となりました。

(素材加工事業)

素材加工事業は、半導体関連部品の受注が増加したことに加え、ユニットモデルをはじめとした防音室の受注が堅調だったこともあり、売上高は 2,581百万円（前年同期比 299百万円増）となり、営業利益は 199百万円（前年同期比 52百万円増益）となりました。

(その他事業)

その他事業は、医療機関向けIT機器販売の増加などにより、売上高は 1,752百万円（前年同期比 860百万円増）となり、営業利益は 42百万円（前年同期比 40百万円増益）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、受取手形及び売掛金の増加などにより 74,433百万円（前期末比 441百万円増）となりました。

負債合計は、長期借入金の増加などにより 31,994百万円（前期末比 2,544百万円増）となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定の減少などにより 42,438百万円（前期末比 2,102百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日に公表いたしました内容から変更はありません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,300	13,555
受取手形及び売掛金	10,606	11,119
商品及び製品	11,324	11,364
仕掛品	2,318	2,227
原材料及び貯蔵品	5,609	5,487
その他	5,550	5,347
貸倒引当金	△191	△186
流動資産合計	48,518	48,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,079	3,986
機械装置及び運搬具（純額）	1,810	1,711
土地	6,426	6,411
その他（純額）	2,692	2,771
有形固定資産合計	15,008	14,881
無形固定資産	492	466
投資その他の資産		
投資有価証券	7,232	7,133
繰延税金資産	1,180	1,459
その他	1,748	1,764
貸倒引当金	△189	△189
投資その他の資産合計	9,972	10,168
固定資産合計	25,472	25,516
資産合計	73,991	74,433
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,876	5,660
短期借入金	5,562	5,635
未払法人税等	135	194
賞与引当金	858	326
製品保証引当金	175	167
その他	5,866	6,306
流動負債合計	17,475	18,291
固定負債		
長期借入金	2,884	4,575
環境対策引当金	5	5
株式報酬引当金	34	38
退職給付に係る負債	7,457	7,540
資産除去債務	580	582
その他	1,011	962
固定負債合計	11,973	13,703
負債合計	29,449	31,994

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,122	7,122
資本剰余金	1,294	1,294
利益剰余金	29,556	28,566
自己株式	△976	△976
株主資本合計	36,997	36,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,733	1,664
為替換算調整勘定	5,759	4,727
退職給付に係る調整累計額	51	40
その他の包括利益累計額合計	7,544	6,432
純資産合計	44,541	42,438
負債純資産合計	73,991	74,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	17,602	17,792
売上原価	13,624	13,729
売上総利益	3,978	4,063
販売費及び一般管理費	4,533	4,563
営業損失(△)	△555	△500
営業外収益		
受取利息	28	38
受取配当金	50	62
固定資産賃貸料	14	20
為替差益	287	208
その他	21	7
営業外収益合計	402	337
営業外費用		
支払利息	19	35
寄付金	38	16
訴訟関連費用	—	21
その他	16	31
営業外費用合計	74	105
経常損失(△)	△227	△268
特別利益		
受取補償金	—	5
特別利益合計	—	5
特別損失		
固定資産除却損	19	1
固定資産売却損	—	5
特別損失合計	19	7
税金等調整前四半期純損失(△)	△246	△269
法人税等	36	△100
四半期純損失(△)	△282	△169
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△283	△169

(四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△282	△169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	△69
為替換算調整勘定	1,156	△1,031
退職給付に係る調整額	4	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	17	—
その他の包括利益合計	1,153	△1,112
四半期包括利益	870	△1,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	859	△1,282
非支配株主に係る四半期包括利益	10	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	楽器教育	素材加工	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	14,428	2,282	891	17,602	—	17,602
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	25	31	58	△58	—
計	14,429	2,307	923	17,660	△58	17,602
セグメント利益 又は損失(△)	△687	147	1	△538	△16	△555

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△16百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△16百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	楽器教育	素材加工	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	13,458	2,581	1,752	17,792	—	17,792
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	29	31	62	△62	—
計	13,460	2,611	1,783	17,854	△62	17,792
セグメント利益 又は損失(△)	△728	199	42	△486	△14	△500

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△14百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△13百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末より、従来「その他」に含まれていた「その他事業」の量的重要性が増したため、報告セグメントを従来の「楽器教育事業」及び「素材加工事業」の2区分から、「楽器教育事業」、「素材加工事業」及び「その他事業」の3区分に変更しております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	401百万円	466百万円